

## 平成 28 年度（2016 年度）事業報告

（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

平成28年～29年は、英国の欧州連合（EU）離脱に続き、米国でトランプ政権が誕生し、世界は歴史的な転換点を迎えました。世界的に経済保護主義、一国主義、移民・難民排斥傾向が顕著となり、この動きは加速しているかに見えます。一方で、中国の経済・軍事的台頭と南シナ海支配強化、韓国の朴槿恵大統領罷免に伴う大統領選、北朝鮮による核・ミサイル開発の強行、金正日総書記の長男、金正男氏の殺害事件など中国・朝鮮半島情勢も流動化し、東アジアも激動の時代に入りました。また、トランプ政権のシリア攻撃がシリアやイスラム国（IS）を中心とする中東情勢にどのような影響を与えるのかも不透明です。

こうした中、アジア調査会は平成 28 年に五百旗頭真氏を第 8 代会長に迎え、講演会やアジア・太平洋賞の実施、情報誌アジア時報の発行などを中心に激動の世界を追い続けました。定例のアジア調査会講演会は 5 回実施し、このほか毎日新聞の特派員経験者による記者講演会を 2 回開催しました。4 月に安全保障法制について高村正彦・自民党副総裁に講演していただいたほか、7 月に福田康夫元総理のご協力を得て五百旗頭会長のアジア調査会長就任記念講演会を実施しました。このほか、9 月に岸井成格・毎日新聞社特別編集委員、11 月に野田佳彦前首相、2 月に久保文明・東京大学法学部教授に講演をお願いしました。6 回の講演会を行う予定でしたが、日程調整上、6 回目の講演会（中谷巖・三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング理事長）は平成 29 年 4 月にずれ込みました。このほか、昨年 9 月にはアジア調査会の提案・調整で、五百旗頭会長ほか、宮本雄二・アジア調査会理事（元駐中国大使）、川島真・東京大学教授の 3 者による日本記者クラブでの会見を実施し、約 200 人の参加者がありました。

11 月には日本記者クラブで国際シンポジウムを主催し、日本、中国、台湾を中心とする東アジアの経済統合について議論の場を設けました。記者講演会には、昨年 7 月に米大統領選情勢、今年 3 月に韓国・北朝鮮情勢に関する報告会を開き、多数の参加者がありました。

第 28 回アジア・太平洋賞は、新たに五百旗頭会長を選考委員長に、また高原明生・東京大学大学院教授、小松浩・毎日新聞主筆を迎え、白石隆・政策研究大学院大学 SciREX センター長（前同大学長）、田中明彦・政策研究大学院大学長（前東京大学東洋文化研究所教授）の 5 人が選考委員となり行われました。今回は大賞の該当作はありませんでしたが、特別賞にニューヨーク在住の元オックスフォード大学リサーチ・フェロー、堀田江理氏の『1941 決意なき開戦』（人文書院）など 4 点を選び、11 月 9 日に表彰式を行いました。

また、毎日新聞社とのコラボレーションで、アジア・太平洋賞の選考委員 4 人（五百旗頭氏、高原氏、白石氏、田中氏）によるリレー・コラム「激動の世界を読む」を毎月 1 回、毎日新聞のオピニオン面とアジア時報に同時掲載し、アジア調査会とアジア・太平洋賞の知名度向上、言論発信力の強化に努めました。

## (1) 調査・研究

### ◇ アジア研究委員会

アジア研究委員は諸般の事情により現在、休止しています。新たな研究会の発足を検討中です。

### ◇ 講演会

定例講演会を5回開催しました。また、アジア調査会が主催する国際シンポジウムを日本記者クラブで1回開催。記者講演会を2回開催しました。

1. 回数／8回
2. 講師／日本人 12人  
外国人 1人
3. 講演場所／東京8回

### 平成28年度（2016年度）講演会

#### 〔東京〕

平成28年(2016年)

- |  |                 |
|--|-----------------|
| ① 高村 正彦（自由民主党副総裁）<br>「平和安全法制について」                              | 4月6日 東京・帝国ホテル   |
| ② 及川 正也（毎日新聞社論説委員）<br>「どうなるアメリカ大統領選挙～日米、世界は？」                  | 7月8日 東京・毎日ホール   |
| ③ 五百旗頭 真（アジア調査会長）<br>福田 康夫（元内閣総理大臣）<br>「乱世の世界と日本——21世紀をどう生きるか」 | 7月13日 東京・帝国ホテル  |
| ④ 岸井 成格（毎日新聞社特別編集委員）<br>「歴史の転換期と政局の行方」                         | 9月27日 東京・帝国ホテル  |
| ⑤ 野田 佳彦（民進党幹事長、前内閣総理大臣）<br>「内外情勢について」                          | 11月16日 東京・帝国ホテル |

平成29年(2017年)

- |   |                |
|---|----------------|
| ⑥ 久保 文明（東京大学大学院法学政治学研究科教授）<br>五百旗頭 真（アジア調査会長）<br>「トランプ政権誕生の衝撃とその含意」 | 2月15日 東京・帝国ホテル |
| ⑦ 澤田 克己（毎日新聞社論説委員）<br>「不透明感増す朝鮮半島情勢」                                | 3月14日 東京・毎日ホール |

## 平成 28 年度（2016 年度）シンポジウム

李 淳 （財団法人中華経済研究院副執行長）  
伊藤 信悟 （みずほ総合研究所調査本部アジア調査部中国室長）  
高 寛 （一般財団法人台湾協会理事、元台湾三井物産董事長）  
坂東 賢治 （毎日新聞社論説室専門編集委員）  
「激動する東アジア経済 日台の進むべき道」

11月24日 東京・日本プレスセンター

### (2) 出 版

月刊情報誌『アジア時報』を10回発行(7・8月号、1・2月号は合併号)しました。アジア調査会主催の講演会や国際シンポジウム、記者講演会、日本記者クラブ主催の五百旗頭会長らによる記者会見の詳細を掲載したほか、昨年3月号から始めた米大統領選を分析する連載「米大統領選を追う」を大統領選まで掲載。若手研究者を積極的に登用するなどして国際情勢を丹念に追う誌面作りをしました。また、五百旗頭会長らアジア・太平洋賞選考委員によるリレー・コラム(毎日新聞オピニオン面との同時掲載)を開始。アジア調査会が後援する日本橋報社・日中交流研究所主催の『中国人による日本語作文コンクール』の受賞作を掲載しました。

### (3) 事 業

#### ◇ 第 28 回 「アジア・太平洋賞」

アジア調査会創立25周年記念事業として、平成元年に設立され、内外の優れた著書を顕彰してきた「アジア・太平洋賞」(特別協賛・スルガ銀行、協賛・日本生命、三菱商事 協力・ANA)は、学会・出版界等の注目のもと、28回目を迎えました。応募総数は84点と、国際的にも注目される賞となってきました。

第28回の受賞著書は下記のとおりで、平成28年11月9日に東京で表彰式を行いました。

《 大 賞 》 賞金 200 万円 副賞 ANA 国際線航空券  
該当なし

《 特 別 賞 》 賞金 30 万円

『福祉のアジア』〔名古屋大学出版会〕

上村 泰裕 名古屋大学大学院環境学研究科准教授

『現代インドのカーストと不可触民』〔慶應義塾大学出版会〕

鈴木 真弥 人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター研究員

『1941 決意なき開戦』〔人文書院〕

堀田 江理 元オックスフォード大学リサーチ・フェロー

『中国経済学入門』〔名古屋大学出版会〕

加藤 弘之 神戸大学大学院経済学研究科教授

#### ◇ 毎日講演センター

各種の講演会や研修会に講師を斡旋する「毎日講演センター」は、不透明な国内政治、経済状況を反映して、各種団体、企業、自治体等からの依頼に応じて、政治・経済などの権威ある講師を派遣し、情報提供に貢献しました。

### 会 計 報 告

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの会計年度における総収入は40,482,033円、総支出は42,349,581円、差引損失金は1,867,548円となり、これを次期に繰り越しました。

### 附 属 説 明 書

該当事項がないため、記載を省略します。